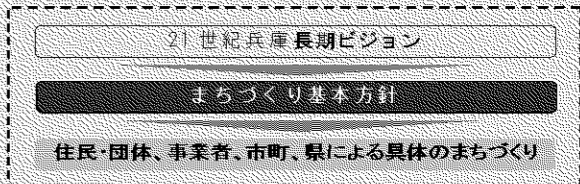


## I 基本方針の位置づけ・目的と視点

- ◇基本方針の位置づけ
  - ・まちづくり基本条例第10条に基づく、まちづくり施策を総合的に講ずるための基本方針
  - ・21世紀兵庫長期ビジョン(以下、「長期ビジョン」)のまちづくり分野における基本的な方針として位置づけられており、長期ビジョンの見直しに伴い改定
  - ・長期ビジョンと同様に、2040年を想定年次としてめざすべきまちの将来像を提示し、2020年を目標年次として取組の方向性を明確化
- ◇改定の目的
  - ・長期ビジョンの改定を受け、人口減少社会や東日本大震災等の社会の変化を踏まえたひょうごの新しいまちづくりの方向性を総合的に示すために改定(今後は長期ビジョンの改定に併せて見直し)
- ◇改定の視点
  - 視点1** わかりやすさの向上 (本文のコンパクト化、キーワード化、別冊資料集(まちづくりデータ集、まちづくり事例集、まちづくり指標集)の整理などわかりやすさに配慮)
  - 視点2** 「まちづくり」の対象範囲の明確化 (「日常生活に係る空間づくり(ハード)とそれに関係する人づくりや仕組みづくり(ソフト)」として明確化)
  - 視点3** 兵庫の特性を踏まえた「4つの地域」の明確化 (「集落とその周辺」「地方都市」「郊外ニュータウン」「都市中心部」の4つの地域をまちづくりの視点から明確化)
  - 視点4** 4つの地域の「懸念されるシナリオ」と「めざすべき将来像」を提示 (地域における懸念されるシナリオと目指すべき将来像を明確に提示し、共有)



## II 2020年に向けたまちづくりの基本コンセプト

### 地域がつくり、未来へつなげるまちづくり

これからのまちづくりは地域が主体。県民一人ひとりが主役となって、持続可能な地域をつくる。  
安全・安心で環境と共生した地域、魅力や活力にあふれ自立した地域を、交流と連携のもとにつくり、「創造と共生の舞台・兵庫」の実現をめざす。

### 4つのテーマ

#### 安全・安心のまちづくり

東海・東南海・南海地震等に備えた都市機能の確保と迅速な復興への取組、利用者目線での福祉のまちづくりなど、まちの安全・安心

#### 環境と共生するまちづくり

自然環境・生物多様性の保全再生、住宅やまちの低炭素・省資源・エネルギーの自給などによる環境との共生

#### 魅力と活力あるまちづくり

地域の宝・個性の再発見と発信による地域の魅力づくりと、都市のコンパクト化など土地利用の工夫による地域活力の増進

#### 自立と連携のまちづくり

人と人、地域と地域の交流や連携の促進による持続人口(定住人口+交流人口)の確保と地域の自主・自立

## IV 各主体の役割

- 住民・団体、事業者**: まちづくりの主役
- 市町**: まちづくりをプロデュース
  - ・地域に応じたまちづくり施策の実施
  - ・住民・団体、事業者が取り組むまちづくりへの支援
- 県**: まちづくりをサポート
  - ・地域のまちづくりを牽引する施策の実施
  - ・地域の優れた取組の顕彰 その他

## III 地域のまちづくり

それぞれの地域で、懸念されるシナリオを避け、めざすべき将来像へたどり着くために、基本コンセプトのもと地域で重点的に取り組むまちづくりの方向性を重点プロジェクトとして提示

		4つの地域						
		集落とその周辺	地方都市	郊外ニュータウン	都市中心部			
懸念されるシナリオ	地域の崩壊	・地域生活が維持できず集落が崩壊 ・農地、森林、里山の荒廃による水源涵養等の機能不全 ・災害時の集落の孤立化	生活拠点の喪失	・中心市街地の機能低下により周辺地域の生活拠点が喪失、周辺地域の衰退が加速 ・合併による地域格差が拡大	荒廃する住宅地	・センター施設の老朽化、陳腐化や公共サービスの低下により買い物難民の発生、高齢者移動に支障 ・利便性の差により地域格差が拡大	活力の低下	・広域的に激化する都市間競争に敗北 ・富裕層、若年層が流出 ・災害対策の遅れによる被害の甚大化
	めざすべき将来像	つながりが育む豊かな暮らし	個性あふれる地域の核	住民主役の成熟したまち	魅力あふれる先端都市	・多様な産業・商業・人材が集積する便利で快適な都市 ・誰もが安心・快適に暮らし、集い、働く ・災害時への対策と物・サービス・情報が充実		
重点プロジェクト	プロジェクトを構成するまちづくりの取組方向	安全・安心	◆「つながり」で築く安全と安心	◆地域の安全・安心の核となるまちへ	◆住民がつくる安全で安心な「まち」へ	◆安全・安心の拠点都市へ		
		環境との共生	◆都市へ「つなぐ」自然・食料・エネルギー	◆エネルギーの地産地消で自立したまちへ	◆ゆとりある空間で環境最先端の「まち」へ	◆多様なエネルギー源を持つ低炭素都市へ		
		魅力と活力	◆地域の魅力が「つなげる」しごと	◆個性が集まり賑わうまちへ	◆ベッドタウンから魅力と仕事が生まれる「まち」へ	◆歴史、文化、産業が輝く中心都市へ		
		自立と連携	◆世代を超えて「つながる」むらへ	◆さまざまな人が交流する結節点へ	◆多様な人材が活躍できる「まち」へ	◆多選択・多参画型都市へ		